

津村 早紀氏（共同発表者：新井学氏、馬塚れい子氏）

発表タイトル: 「子どもの言語理解能力の発達と抑制機能の関係性」

本発表は、絵の判定に基づく Go/No Go 課題によって計測した抑制機能の指標とガーデンパス文の解釈という言語処理機能の指標に相関があるかを 5 歳から 8 歳までの子どもを対象として検証した。その結果、両者の関連がみられ、混乱を誘発する文の理解において、抑制機能の個人差が影響している可能性が示された。刺激として用いられたガーデンパス文の逸脱性に関して意味の観点からの統制が必ずしも十分でないといった課題は残されているものの、実験計画や問題設定については新規性および発展性があり、着実な分析手法が取られている点などにおいて高い評価がなされた。